

のが本筋。良い方向に向かっていると感じている。

【3】お話し合いコーナー：

(1) 冠婚葬祭について

いろいろな考え方があるので、小委員会を作って検討を進めたい。壮年会、婦人会、委員会より各2名(6~7名)で検討する。

(2) 一粒会 会計報告 6月分 20,500円 累計237,221円 (1~6月)

(3) お聖堂掃除について： 壮年会、婦人会検討の結果、毎週行うことに決まった。(7/13より実施)

壮年会だより

< 7月20日(日) 8名出席 >

炎天下、皆の協力で庭の草刈り、枝払いを行いました。大汗をかきましたが、きれいになりました。その後の反省会でのビールのおいしかったこと。

婦人会だより

< 7月20日(日) 34名出席 >

1. 委員会報告

2. お知らせ

◆C地区の田丸さんが入院されましたので、役員がお見舞いに伺いました。

◆A地区の佐々木邦子さんが茨城県竜ヶ崎市へ転居されました。

3. お聖堂のお掃除について

毎日曜日に皆ですることに決まりました。風の強い日は窓をお閉め下さるようお願い致します。

4. 卓球委員会の準備委員を選出

七浦さん、中谷さんに決まりました。

5. 冠婚葬祭について

小委員会の委員を選出。阿部映子さん、位田さんに決まりました。

6. バザーについて

◆食堂：カレー300円、おでん200円、お汁粉200円、紅茶とケーキ150円

◆雑貨：8月31日迄にお願いします。

◆自主製作品(2点)：10月5日迄にお願いします。

◆古着：9月から集めます。

7. 遠足への補助金の件

遠足に補助金を出した方が良かったのではとの意見につき話し合い、下記結論となりました。来年から会計の大まかな予算を立てる。費目は行事費、事務費、慶弔費、献金(一粒会)、予備費等。新年会、遠足は行事費として、出来る範囲で計上する。

8. いのちの電話コンサート

「3人寄れば文殊のギター」10月17日夜7時 関内ホール
お子さまもどうぞ。

9. 同志会からのお知らせ

11月1日 児玉マリ 県民小ホール(パイプオルガン)

9月25日 信仰の立場から「差別を考える」3回目

森一弘司教様(東京教区)於カトリックセンター

11月13日 古川勉師(由比ヶ浜主任司祭)4回目

8月は婦人会はお休みです。

次回例会は9月21日(日)、次回当番はB地区です。

ミサ 当番表 (97年 8, 9, 10月)

月/日	主 日	朗読、奉納	オルガン
8 / 3	年間第十八主日	石 井	岩 渕
8 / 10	年間第十九主日	青 年 会	石 川
8 / 17	年間第二十主日	婦人会役員	森 田
8 / 24	年間第二十一主日	井 上	大 宮
8 / 31	年間第二十二主日	婦人会役員	岩 渕
9 / 7	年間第二十三主日	橋	石 川
9 / 14	十字架称賛	青 年 会	森 田
9 / 21	年間第二十五主日	婦人会B地区	大 宮
9 / 28	年間第二十六主日	山 田	岩 渕
10 / 5	年間第二十七主日	清 水	石 川
10 / 12	年間第二十八主日	青 年 会	森 田
10 / 19	年間第二十九主日	婦人会C地区	大 宮
10 / 26	年間第三十主日	小 谷	岩 渕

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。

(萩原：☎ 802-6258)

お知らせ

転居

➤ ヴィンセンシオ 布川 薫

南区永田町みなみ台 2-1-517

Tel. (045)716-2985

(教会籍は当面今のままとのことです)

➤ モニカ 佐々木 邦子

茨城県竜ヶ崎市長保台4-1-5

ライフヒルズ星の郷 西一番館106

小沢 泉様方

(当分の間教会籍は残したまま)

転入

➤ マリア 小森 小夜子

大和市上和田2412 上和田団地 2-7-502

Tel. (0462)69-9302

➤ アンナ 今里 久美子

御主人：秋山 美典

(結婚 4月5日 於藤沢教会)

藤沢市弥勒寺 1-2-20

Tel. (0466)27-4765

➤ 吉田 恵子

大船教会へ

中田東 2-25-3 りぶいんしらゆり翼203

(住所は同じ、ご友人の関係で再び大船

教会へ)

転入

➤ ヨゼフ 内海 章之

藤沢教会より

泉 区 和 泉 町 3864

(045)802-0984

御家族：奥様、お子様 2人

➤ マリア・ローズ 横谷 雅

子

大和教会より

泉区和泉町 5627-3

アズ・フローラいずみ野402

Tel. (045)803-8589

結婚

➤ ヨゼフ 松下 俊二

石井 峰子

5月21日 於 山手教会

➤ ヨハネ 金松 郁孝

相原 和美

6月22日 於 聖の心教会

今月の予定

聖母被昇天 8月 15日

卓球大会 8月 31日

(9時御ミサ後、於地区センター)

サロン 8月 10, 24日

レジオ お休み



一九九七年の四旬節

第四の主日 メッセージ ④

山崎 正俊



◎ 定められた山の登り口にかかって、薪を背負った息子のイザアクは云う。「お父さん、必要な薪と火種はあります。イケニエの動物は何処におるのですか」(これは神様の御決定されたことです。神様は約束を必ずお守りになります。私の子孫をふやすことになっているはずの一粒種の息子が、イケニエとして捧げるために、その親である私の手によって殺されかけている。そのようなことが起こされはしないはずなのに、神様の御約束と御命令との相違に悩みながら、あてにもならぬ何を期待できたのか。)

「神様が与えてくださる」(と答えている)それは、強い叱るような言葉の調子だったろうと、私は想像しているのだが、どのような真実味をもって、伝わっていったのだろう。私なら、どうするか。まさか、耐えきれないで失望してしまうことにならないだろう。最善の抵抗としての自殺には、私の力は及ばない。そうなれば、イエズス様の救世の御業には結び付けない。けれども、それでは、聖パウロによる「信仰」の義などでは、かさねれないだけでなく、イエズス様の出番はなくなり、御父の御計画など変更という大失態になるとは、決してならないから、私などは、聖パウロの跡を継いで、イエズス様に捕らわれた者にはなりようがなくなる。そうなれば、実に面白いことだ。それでは、歴史は混乱をきわめることに、(このようなことは、あり得ないことに) さえ、なれないか。・・・

◎ 私の家の血に残された祖先たちのユガメラレタ仕来たりが、ふんぞり返っている権力者に

感じていた反感とかさなる。——無理矢理に息子に後を譲り渡され、年老いた両親の方が家を追い出され、持ち出した家系図は取りあげられ、分家となり、同じ村内に間近に住みながらも、すべての親類との出入りはさし止められ、それでも、はしっこのほうからの婿取り嫁取りで、血筋だけはつながらせても、墓地は別にさせられ、子は生めないから下働きの女に手をつけても、生まれた娘は成長すると他処へ出す。三代目では、七人の子をなしながらも、なりゆきから、問題もなく、長男は後を継がないことに、四代目も五代目もきまった。何の話もなく、そういうことになってゆく。(これはどうしたことなのだろう。これが私の妄想か、空想からのものならよいが。ヨイカゲンにしろ。)

◎ 自分なりのまっとうな生き方を探しつつけるという、反省と祈りを絶やさず、聖パウロがファリザイ派から見れば(呪わしいと云えそうな)イエズス様の教えておられた『まことの神』への道へと転換した、あの、勇気ある偉大な姿にならって、自分に対するワザワイも感謝できる、喜びのもとになったことこそ、すこしもキミョウなことではなかったのだ。この「後から来た者への差別」こそ、知らぬままに、まことの信仰への刺激となって、「イザアクを前にしての、アブラハムの悩み」が、聖パウロの真心を打っているのですから、それが私への応援歌となり、信仰の基。礎(イシズエ)ともなったのです。

(三月十八日)



若い世代への応援歌

小野 雅彦



例年、今ごろの季節になると、入社試験の面接試験のお役目がまわってくる。小生の役回りは、理工系の新卒(見込)志願者の面接試験であり、大げさかも知れないが、会社の将来を託する人物を選ぶことでもあり、重要な仕事と思っている。たかが一人20～30分位の時間で、能力、人物を評定する罪深い(?)仕事であるが、小生の場合は、専攻して学んだ学問もさることながら、学生生活自体をどの様に過して来たか、またそこで何を学んだか、を話題の切り口にして、多少意表を突く質問も織り交ぜながら、色々聞くことにしている。

「今時の若い者は、.....」などという苦言めいた話はいつの時代にもあるが、なかなかどうして、男女を問わず頼もしい学生諸君も多い。

- ◆既存のサークルに入るだけではあきたらず、自分でサークルを作りその運営、世話に没頭して来た人、
 - ◆ボランティア活動にエネルギーを注ぎ込み、知的障害を持った子供達と話をすることに、殆ど全ての休日を捧げた人、
 - ◆同じくボランティア活動で、休日に老人ホームを慰問することに自分の休日を捧げた人、
 - ◆勉学の傍ら、インターネット系のベンチャー企業を自分で興し、その経営課題に没頭している人、
 - ◆居酒屋チェーン店でのアルバイトが昂じてのめり込み、経営者から見込まれて支店を任されて、そこを一手に仕切っている人、
- 等々、実に多彩である。



この様な、人間社会との強い関わりを経験して来た諸君は、概ね生き生きしており、「目の表情」が豊かで輝いている。そして、「会社に入ってからやりたい仕事」、「夢」を質問しても、説得力のある、そして熱っぽい答えが直ぐに返って来る。例えば、大学に入るまでは、親の進め等に従って、あまり生き方を意識しなくて進んで来た人も、入った後で「一体、何の為に学ぶのか?」「何が一体生きがいなのか?」という基本課題に遭遇して、自ら進んで社会との関わり、人間と人間との触れ合いを求めて行った人もいる。

彼らも、いろいろな壁にぶつかり、また挫折も経験しているが、その経験は尊く、彼らはそれを肥やしにしながら成長していく。そして、何よりも、打算を超えて社会に貢献出来る喜び、人の役に立つ喜びを、無意識に感じ取っており、小生は、この様な学生諸君に、熱いエールを送りたい。

中和田教会に在籍する学生諸君も、有意義な生活を送っておられると思うが、是非、「何の為に生きるのか」という根源的課題に自分の答えを見出して、社会に飛び込んで頂きたい。その答えは、決して、「会社に入って、給料を貰うこと」ではないはずである。



青少年コーナー

聖書研究会に入って



岩淵 宏毅

僕の通っている学校はカトリックの学校なので、週二時間の倫理の時間には、聖書の勉強をします。その他に毎週金曜日にも聖書研究会があります。全くの自由参加で、信者であってもなくても参加したい人だけが出れば良いという説明があったので、僕は出なくてもすむぞと、内心喜んでいました。実は聖書にはあまり興味がなかったし、放課後は友達と遊びたかったのです。ところが、金曜日の放課後になると、担任の先生が僕の所にやってきて、「さあ! 聖書研究会の時間だぞ!」といって半強制的に連れて行きます。そして、次の週もその次の週も、「先に行っておいて待ってるぞ!」とか、「さあ、始まるぞ!!」等と言って、先生の強引さに圧倒されている僕を、有無を言わず連れていきます。それで僕はいやいやですが、毎週聖書研究会に出ています。

聖書研究会では、主に聖書を読んで感想を述べ合ったり、神父様や先生の話の聞いたりしています。僕は、今まで聖書について色々な疑問を持っていました。例えば、キリストの行った奇跡等も本当にそんなことができるのかなと、信じられなかったのですが、話を聞いている内に色々な考え方や解釈があると言うことがだんだんわかり、少しずつですが、理解しようとする気持ちが出てきました。今まで知らなかったことや、不思議に感じたことをこれからは勉強できたらいいなと思います。また聖書研究会をきっかけに他のクラスの友達とも仲良くなることができました。このように最初は嫌だと思っていたことでも、色々良いこともあるのだと実感し、何でも最初から嫌だ等と決めつけずに、実際にやってみることが大切だと思いました。

エプロン会のこと



斉脇 久子

エプロン会が発足して早四年になろうとしています。間に休んだ期間もありますが、細く長くの言葉通り、原則は月に一度ですが、お互い無理をせず、なるべく多くのメンバーの都合に合わせて集まっています。

発足する前は、決して現在の料理講習会然とした形をイメージしていた訳ではなく、料理好き、食べることの好きな人この指止まれノリで、お互いに得意な料理やお国料理などを紹介し合い、楽しく作ってレパートリーを広げましょうということで始めたつもりでした。期間も六ヶ月と限って始めました。第一回は誰かが自分の料理を紹介しなければ始まらないということで、私が担当しました。自己流の我が家の献立でした。次回からの料理紹介役の引き受け手がないまま六ヶ月私がつとめた時、春夏秋冬、一年間の行事に合わせ、また旬に合わせたメニューをとということで、更に六ヶ月延長しました。相変わらず自己流料理のご紹介を続けるまま、現在に至って居ります。

何故このようなことになったのかよくわかりません。おだてられた豚が木に登ったままという表現が一番当たっているでしょう。一つのお料理を一緒に作ることによって皆の気持ちが一つになり、楽しい雰囲気がかもし出しているように感じます。お料理のレシピだけでなく、この楽しさもそれぞれの家庭に持ち帰って、家族と共に、または友人と共に味わって頂けたらうれしく思います。今では私も自分の勉強にもなるのが有り難く、楽しみに致して居りますが、同時に選手交代で別の方が別のお料理を教えて下さる日が来るのを楽しみに心待ちにして居ります。

毎月第四火曜日午前十時からです。お楽しみに、お出かけ下さい。(月日変更の場合もあります。)(位田)



委員会だより

<7月6日(日) 11名出席>

【1】財務報告：97年6月決算報告を了承。

- 6ヶ月過ぎて入金状況
- ◆月定献金：49% ほぼ予定通り
- ◆建設会計：56% 達成する見込み

【2】お知らせコーナー：

- (1) 山崎神父様 霊名の祝日(6/29) お祝い¥30,000. 霊的花束も多く喜んで頂いた。
- (2) 山崎神父様研修会 鶴飼神父様とご一緒に行かれた。留守番で婦人会の御協力有り難うございました。
- (3) 第二回バザー委員会 (第3回は7/27の予定)
 - ◆バザー券：200冊予定 (@200×5=1,000)
 - ◆バザーチラシ：200枚 A4予定
 - ◆皆様への協力依頼を掲示致しました。
- (4) 第5地区宣教委員会 七浦さん参加。現在各教会の地図や紹介文の作製等進行中。
- (5) 司教館、教区事務所建設準備委員会 説明会及び準備会(7/6)に清水委員長が出席(藤沢教会)
- (6) 卓球大会 8/31: 場所取りを7/31に行う。(⇒取れた)
- (7) 敬老会 9/14: サロンと合わせ実施。予算13万円。婦人会 石井さん、小山さん 宜しく御願います。
- (8) 夏期学校 (井上さん) 在校生6名。宿泊参加者がいないので、合宿は中止。8/10初聖体1名の勉強は通いで行う。夕方から花火大会などの集まりをしたらどうか。在校生以外の子供にも参加してもらったらどうか。
- (9) 青少年を考える会 6/29集会実施(7名出席; 小野寺、鈴木、岩崎、甲斐、山本、石井(政)、清水) 当初は青少年問題につき調査を行い、調査終了時点で今後の活動の方向を決める予定であった。7～8月にかけて方向を考える。教会報は郵送する。54名。複数人いる家庭には連名で送付(約45通) 若い人達に企画してもらい、その支援を中心とする

ウルフ神父様からのお便り

東原 秀夫

中和田教会の共同告解に度々おいで頂き御指導下さった、栄光学園のウルフ神父様から、近況のお便りを頂きましたので御紹介させていただきます。(原文のまま。一部前文略)

十主の平安

毎日曜日ごミサの時中和だの信じの皆様を思い出します。残念ながらわたくしの体の状態わ、あんまりよくありませんので、昔のように中和田教会に顔を出すことができません。どうぞ教会の皆様によろしく。毎日曜日のごミサの時、皆さんのために祈ります。

これから暑くなりますから体をだいにしてください。

ウルフ

ウルフ神父様は現在パーキンソン病で、御病状は若干ずつ進行されておられる御様子ですが、学園内で御療養されており、お散歩などはおできになるようです。お心安らかな日々をお過ごし下さるようお祈り致します。(97.7.7)